



2026年1月

いちご株式会社
2026年2月期 第3四半期
グローバル Web 決算説明会 Q&A サマリー

【説明者】

いちご株式会社（証券コード 2337 東証プライム）

代表執行役会長 スコット キヤロン
財務本部事業推進部部長 森作 ダン

※ 英語で開催された機関投資家向けグローバルカンファレンスコールQ&Aの要約です。
当社HPに動画配信と決算説明資料を掲載しておりますので、是非ご参照ください。

英語の動画配信

www.youtube.com/watch?v=7Lrt8ytK4LY

英語の決算説明資料

www.ichigo.gr.jp/news/p_news_file/file/Ichigo_20260114_Corporate_Presentation_FY26Q3_ENG.pdf

1. 昨年11月から12月の中国の観光客減少による影響は

[キヤロン]

確かに一時的な影響は受けたが、当社ホテル事業における中国からのお客様は少ない。本年の春節前後もホテル事業収益は安定して推移すると見ている。

2. 自社株買いで取得した株式を消却する発表があったが、M&A や不動産を保有する事業会社との提携等も検討しているか

[キヤロン]

M&A より内部成長を優先している。金融機関からの資金調達環境は引き続き良好で、仮にM&Aを行う場合でも、資金調達は株式の希薄化を伴わない借入をまずは考える。

一方、おっしゃるとおり、不動産を保有するアセットリッチな事業会社とご一緒にさせていただき、当社の心築（※）ノウハウを提供できる事業提携は前向きな検討に値するものと我々も考えている。パートナーを見つけることができれば、2社の協業による価値創造活動に加え、さらなる社会貢献やブランド価値向上も期待できる。

（※）心築（しんちく）とは、いちごの不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心を込めた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造することで、日本における「100年不動産」の実現を目指しております。

以上